



このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係(☎82-4111内線215)までご連絡ください。この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。



(和納第二保育園・五歳児)

■写真上段左から：つきおかゆかりちゃん、こみやゆうくん、ひぐちめぐみちゃん 写真下段から：やまもとしょうたくん、しもむらさとこちゃん、ながぬまあおいちゃん

ぼくらの自信作

「巡回ミュージアム」好評開催中！  
県立近代美術館では、より多くの県民の皆さんに収蔵作品を鑑賞してもらおうと県内三か所で「巡回ミュージアム」を開催しています。先月二十七日からは岩室村民館講堂で開催され(今月六日まで)、連日多くの方が同展を訪れています。今回展示されているのは、県内出身の横山操や富岡惣一郎など三十名の作家の作品です。また、吉田町のご好意により、吉田町出身の横山操氏の大作で畳二枚程もある「送電源」や夏井のハサ木と稲をタッチしたと伝えられる「秋」が特別に展示されています。皆さん、ぜひ一度お越しください。



すばらしい作品群が展示中です



慎重に、一株ずつ

ほ場整備を終えた新田で  
— 献穀米の「抜き穂祭」 —

平成6年度の宮中行事、新嘗祭(にいなめさい)に供えられる献穀米の「抜き穂祭」が先月12日、県営のほ場整備事業で新しくなった新谷地区の井田忠三さんの田んぼで行われました。

献穀米は、毎年全国都道府県から選ばれた農家が丹精こめて作ったお米(1升)を皇室へ献上するもので、県内からただ一人選ばれた井田さんは、「育苗、田植えから神経を使い、品質の良いコシヒカリになるように気をつけて育てました」と、ホッとした表情で話していました。

和納城跡が埋没

岩室駅東で確認調査  
新潟市への通勤圏として越後線の最後の砦と言われ、開発が待たれていた岩室駅東の住宅団地開発の申請が、(株)レック三和社よりなされました。同計画地には、上杉時代の和納城跡が埋没されていると言われており、教育委員会(社会教育課)では、文化庁の指示で本場に城が存在していたかどうかの確認調査を、一週間かけて行いました。その結果、駅舎東側の約三反歩の地下約三十cmの所から珠洲焼きのすり鉢とつぼの破片などが出土しました。開発を行うには、今後さらに綿密な調査が必要だそうです。



駅舎裏の調査現場

仲間と友達…そして信頼し合う心

平成六年度・新潟県ジュニアリーダー研修、青少年のつばさ

八月十八日から一週間、平成六年度ジュニアリーダー研修、青少年のつばさが行われました。当村から参加した岩室中学校三年・永井あゆみさんの感想文をご紹介します。

去る八月十八日から一週間「新潟県ジュニアリーダー研修青少年のつばさ」に参加して、韓国に行ってきました。初日と二日目は、巻町の研修センターでハングル語や韓国について学んだり交流を深めたりしました。三日目は、私にとって初めての飛行機です。二時間という短い時間で韓国第二の都市・釜山に着陸しました。寺院や歴史的な建築物を見学し



永井あゆみさん (岩中3年)

釜山に着陸しました。寺院や歴史的な建築物を見学し

た三、四日目は、興奮しているうちに過ぎていきました。五日目です。セマウル号という電車に乗って慶州からソウルに四時間かけて行きました。窓から見える風景は新潟と変わりなく、私を安心させてくれました。ソウルに着くとすぐフィールドワークが始まりました。班ごとに好きなところを見学するのです。私は昌慶宮、宗廟、市民広場、ソウル特別市庁を見学しました。どこへ行ってもいろいろなことを考えさせられました。特に一番最後に行った景福宮では、日本人が韓国という国に対してどんなことをしたのかを知り、私は大きなショックを受けました。私はこの研修に参加して、二つのものを得ることができました。一つは仲間と友達、もう一つは信頼し合う心で

す。私にとって同じ班の仲間は、家族のように無くてはならないものとなりました。仲良くなった友達も忘れられない存在です。信頼し合う心は、私をもっと成長させてくれるでしょう。私にとって、中三の夏休みは最高の日々でした。



▲石窟庵にて

和納「学校教育田」で  
収穫の喜びを体験

和納小学校の学校教育田で先月17日「稲刈り体験学習」が行われ、児童たちは昔ながらの鎌を使っての手刈りによる稲刈りを体験しながら収穫の喜びを味わいました。

当日は、秋晴れの中、今春田植えをした体育館脇の教育田に全校児童が集合。PTA役員の説明の後、児童たちはさっそく田んぼに入り、見事に育った「こがねもち」の鎌による稲刈りを体験しました。

今回収穫したこのもち米は、同校の「もちつき大会」や「文化祭のバザー」などに使われるとのこと。今から待ち遠しいですね。



▲「うーん、重いよ!」

園児とお年寄りが一緒に…

村内4保育園に「ゆきつばき号」が来園

先月の13日・14日の両日、村内4保育園に県警の「ゆきつばき号」がやってきました。

当日は、各保育園とも「祖父母ふれあい会」や「お月見会」を計画しており、最近はお年寄りの交通事故が増えていることもあって、保育園児とお年寄りと一緒に道路の渡り方などの交通ルールを習いました。

子どもたちは、婦警さんがするパズルを使った絵合わせやお話、それに本当にあった交通事故の話などを真剣に聞いていました。